



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月10日

上場会社名 株式会社ピクセラ 上場取引所 東
 コード番号 6731 URL <http://www.pixela.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤岡 浩
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)池本 敬太 (TEL)06(6633)3500
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	2,173	△40.7	△168	—	△235	—	△243	—
24年9月期第2四半期	3,664	△58.4	△67	—	△113	—	△113	—

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 △235百万円(—%) 24年9月期第2四半期 △111百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	△22 34	—
24年9月期第2四半期	△10 43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第2四半期	1,816	14	0.8
24年9月期	2,024	250	12.4

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 14百万円 24年9月期 250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0 00	—	0 00	0 00
25年9月期	—	0 00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,884	△17.1	40	—	△47	—	△59	—	△5 44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料5ページ「2. (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年9月期2Q	11,034,100株	24年9月期	11,034,100株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年9月期2Q	118,712株	24年9月期	118,712株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年9月期2Q	10,915,388株	24年9月期2Q	10,915,388株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の売上高は21億73百万円（前年同期比40.7%減）、営業損失1億68百万円（前年同期は営業損失67百万円）、経常損失2億35百万円（前年同期は経常損失1億13百万円）、四半期純損失2億43百万円（前年同期は四半期純損失1億13百万円）となりました。

セグメント別の業績の概況は以下のとおりであります。

〔ホームAV事業〕

液晶テレビに代わる主力製品となるスマートフォンやタブレット端末でフルセグ放送を視聴できるワイヤレスチューナーは、各OSに対応した機種や外出先でもインターネット経由で視聴できる機種を順次発売いたしました。出荷のずれ込みにより計画の数量に未達となっております。

またモバイル関連では、スマートフォンやタブレット端末向けのワンセグ視聴アプリケーションは、売れ筋端末の入れ替わりが激しく、当社製品搭載機種の販売が想定を大きく下回ったため、ロイヤルティ収入が落ち込み減収減益となりました。

これらの結果、売上高は8億93百万円（前年同期比60.1%減）、セグメント損失（営業損失）は1億50百万円（前年同期はセグメント利益33百万円）となりました。

〔パソコン関連事業〕

パソコン向けテレビキャプチャーのOEM販売は、ソフトウェアのロイヤルティ収入は健闘したものの、全体としてパソコンの需要が伸び悩んでいることから減収減益となりました。

この結果、売上高は8億55百万円（前年同期比18.1%減）、セグメント利益（営業利益）は1億51百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

〔AVソフトウェア事業〕

依然としてデジタル（ビデオ）カメラの販売台数は芳しくないものの、ソフトウェア開発案件を積極的に受託した結果、売上、利益とも増加いたしました。

この結果、売上高は1億93百万円（前年同期比24.8%増）、セグメント利益（営業利益）は1億9百万円（前年同期比47.0%増）となりました。

〔その他〕

光触媒塗料関連の売上高は2億30百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益（営業利益）は10百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。

(注) 各セグメントのセグメント利益（営業利益）又はセグメント損失（営業損失）は、「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用2億89百万円を配分する前の金額であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度に比べ2億7百万円減少し、18億16百万円となりました。これは主に商品及び製品が2億80百万円、受取手形及び売掛金が1億45百万円それぞれ減少し、現金及び預金が1億49百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度に比べ28百万円増加し、18億2百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が44百万円増加し、賞与引当金が18百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度に比べ2億35百万円減少し、14百万円となりました。これは主に四半期純損失の計上により、利益剰余金が2億43百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計期間に比べ1億49百万円増加し、3億11百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、2億16百万円（前年同期は10億51百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が2億40百万円あったものの、たな卸資産の減少額2億56百万円、売上債権の減少額1億45百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は、0百万円（前年同期は10百万円の使用）となりました。これは主に敷金の回収等による収入4百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、74百万円（前年同期は2億25百万円の獲得）となりました。これは借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、既存事業のパソコンやデジタルカメラ市場の回復が引き続き弱含みで推移することが予想されるものの、下期よりスマートフォン向けテレビ視聴アプリケーションが新機種へ搭載され、また、ワイヤレスチューナーの新規事業が開始されることにより売上高の回復が見込まれます。しかしながら、これら事業の収益への貢献は当第4四半期以降であるため、上期の販売不振や為替差損のマイナスを補うまでには至らず、通期の業績を下記のとおり修正いたします。なお、本日発表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」も合わせてご参照下さい。

〈連結〉

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	4,884	40	△47	△59	△5 44
(ご参考) 前期実績 (平成24年9月期)	5,889	△498	△558	△588	△53 92

〈個別〉

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	4,428	△54	△64	△5 95
(ご参考) 前期実績 (平成24年9月期)	5,448	△565	△599	△54 92

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想値と異なる可能性がありますことをご承知置きください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは当第2四半期連結累計期間において前事業年度に引き続き営業損失を計上していることから、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。

この主な要因は、地上デジタル放送への切り替えに伴う受信機の特需の後、コンシューマ市場向けのこれに代わる収益の柱が確立できない中、パソコンやデジタルカメラの市場が停滞し、既存のテレビ視聴機器やアプリケーションソフト等のOEM向け製品のビジネスが落ち込んでいるためであります。

かかる状況を踏まえ、昨年来より当社グループでは、ターゲットとするマーケットを好不調の変化が激しい一般コンシューマ市場向け製品だけでなく、安定した収益の見込める回線事業者やCATV事業者などのサービスを提供する企業を対象にしたBtoB市場向け製品開発や好調なスマートフォンやタブレット端末に向けた製品開発を加速させるほか、売上構成比をハード製品からソフトウェア製品や受託開発にシフトすることにより利益率の改善を図るとともに、在庫の適正化及び人件費の削減等の経費の圧縮を行っております。

こうした活動の結果、業界初となるスマートフォンで高精細なフルセグテレビ番組を視聴できるアプリケーションソフトが、従来よりワンセグ視聴ソフトを提供してきたメーカーのみならず新規メーカーにも採用され、今夏モデルから出荷開始されることとなりました。また、BtoB市場向けでは、当第4四半期より新製品が回線事業者のサービスオプションとして採用されるほか、CATV事業者向けにVOD (Video On Demand) 端末が採用されるなど新規事業が立ち上がることとなり、次期以降に渡ってこれらの事業が収益に貢献する見込みとなったことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	162,007	311,810
受取手形及び売掛金	705,365	559,752
商品及び製品	466,373	186,295
仕掛品	4,777	4,931
原材料及び貯蔵品	74,610	98,090
その他	58,546	54,770
貸倒引当金	△12,078	△3,633
流動資産合計	1,459,602	1,212,017
固定資産		
有形固定資産	123,697	114,950
無形固定資産		
ソフトウェア	16,499	17,316
電話加入権	817	817
無形固定資産合計	17,316	18,133
投資その他の資産		
投資有価証券	92,116	94,355
営業保証金	234,868	285,218
保険積立金	4,150	4,210
敷金	85,468	81,156
その他	7,196	14,740
貸倒引当金	—	△8,100
投資その他の資産合計	423,800	471,579
固定資産合計	564,814	604,664
資産合計	2,024,416	1,816,681
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	509,177	553,533
短期借入金	136,230	135,110
株主、役員又は従業員からの短期借入金	155,200	188,100
1年内返済予定の長期借入金	159,659	158,567
未払金	59,918	55,750
未払費用	313,685	336,743
未払法人税等	10,473	7,366
賞与引当金	58,187	39,853
その他	14,673	42,422
流動負債合計	1,417,206	1,517,447
固定負債		
長期借入金	313,768	241,516
資産除去債務	30,194	30,353
繰延税金負債	12,190	12,132
長期預り保証金	1,000	1,000
固定負債合計	357,153	285,001
負債合計	1,774,359	1,802,448

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,101,290	1,101,290
利益剰余金	△699,167	△942,980
自己株式	△125,038	△125,038
株主資本合計	277,085	33,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,028	△19,039
その他の包括利益累計額合計	△27,028	△19,039
純資産合計	250,056	14,232
負債純資産合計	2,024,416	1,816,681

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	3,664,365	2,173,004
売上原価	2,985,124	1,702,808
売上総利益	679,241	470,196
販売費及び一般管理費	746,663	638,837
営業損失(△)	△67,422	△168,640
営業外収益		
受取利息	63	14
受取配当金	11	16
助成金収入	—	300
投資事業組合運用益	—	633
雑収入	—	38
営業外収益合計	74	1,002
営業外費用		
支払利息	6,889	9,510
支払手数料	7,499	8,057
為替差損	24,422	49,425
その他	7,110	924
営業外費用合計	45,921	67,918
経常損失(△)	△113,268	△235,556
特別利益		
賞与引当金戻入額	1,280	—
特別利益合計	1,280	—
特別損失		
特別退職金	—	4,565
特別損失合計	—	4,565
税金等調整前四半期純損失(△)	△111,988	△240,121
法人税、住民税及び事業税	3,876	3,876
法人税等調整額	△1,976	△184
法人税等合計	1,899	3,691
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△113,887	△243,813
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△113,887	△243,813

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△113,887	△243,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,093	7,988
その他の包括利益合計	2,093	7,988
四半期包括利益	△111,794	△235,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△111,794	△235,824
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△111,988	△240,121
減価償却費	42,111	19,107
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,573	△344
賞与引当金の増減額(△は減少)	△62,770	△18,334
受取利息及び受取配当金	△74	△30
支払利息	6,889	9,510
為替差損益(△は益)	△393	△23,192
売上債権の増減額(△は増加)	815,680	145,613
たな卸資産の増減額(△は増加)	△148,429	256,443
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,344,768	44,356
未払金の増減額(△は減少)	△75,851	△6,177
その他	△154,087	45,492
小計	△1,036,256	232,322
利息及び配当金の受取額	61	26
利息の支払額	△7,698	△8,086
法人税等の支払額	△7,527	△7,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,051,421	216,795
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,404	△7,172
無形固定資産の取得による支出	△10,792	△2,861
投資有価証券の売却による収入	3,600	6,510
敷金の回収による収入	—	4,312
その他	△60	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,657	729
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△32,030	△1,120
長期借入れによる収入	301,000	—
長期借入金の返済による支出	△43,342	△73,344
財務活動によるキャッシュ・フロー	225,628	△74,464
現金及び現金同等物に係る換算差額	393	6,742
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△836,057	149,802
現金及び現金同等物の期首残高	1,056,124	162,007
現金及び現金同等物の四半期末残高	220,066	311,810

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホームAV 事業	パソコン関連 事業	AVソフトウ エア事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,236,983	1,043,585	155,149	3,435,718	228,647	3,664,365
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,236,983	1,043,585	155,149	3,435,718	228,647	3,664,365
セグメント利益又は損失(△)	33,195	180,639	74,425	288,260	△7,743	280,516

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、光触媒機能性塗料事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	288,260
「その他」の区分の損失(△)	△7,743
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△347,938
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△67,422

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎研究費等であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホームAV	パソコン関連	AVソフトウ エア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	893,496	855,105	193,682	1,942,284	230,720	2,173,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	893,496	855,105	193,682	1,942,284	230,720	2,173,004
セグメント利益	△150,199	151,063	109,382	110,246	10,128	120,374

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、光触媒塗料事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	110,246
「その他」の区分の利益	10,128
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△289,015
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△168,640

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎研究費等であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。